

fostermusic rental collection



福 島 弘 和

ごんぎつね

～音楽と語りのための～



Hirokazu Fukushima

Gon, the Little Fox

foster
music



ごんぎつね ～音楽と語りのための～

fostermusic rental collection

作 編 曲 者：福 島 弘 和
発 行・発 売：フォスターミュージック株式会社
発 行 人：榊本真希

〒273-0032千葉県船橋市葛飾町2-381-4 サンモール五番館602
TEL 0120-916-773 (携帯・PHSからは047-402-3851)
FAX 047-432-9881 E-mail support@fostermusic.jp
URL <http://www.fostermusic.jp>

※十分注意しておりますが、損傷・落丁・乱丁等がある場合はお取り替えいたします。

フォスターミュージック株式会社が発行する全ての楽譜は、著作権法により保護されており、弊社の許諾を得ずに複製または複写することは、いかなる方法においても禁じられています。また、公表された著作物を複製する行為は、著作権者の利益を不当に害することとなり、著作権法により罰せられます。著作物の無断複製は、作家および出版社の正常な創作活動や、制作・出版活動に困難を来し、ひいては皆様の演奏活動にも大きな影響を及ぼすこととなります。音楽文化の健全な発展のため、音楽を愛する皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

ご購入された演奏団体様に限ってパート譜のブルト増しのための複製を許可いたします。



LOVE THE ORIGINAL
楽譜のコピーはやめましょう



福島弘和

ごんぎつね

～音楽と語りのための～

● 解説

新美南吉 作。こちらも絵本は黒井健 作画の絵本が美しいタッチでおすすめです。

2013 年に川越奏和奏友会吹奏楽団の委嘱により作曲しました。ごんぎつねとの出会いは小学校の国語の授業でした。この物語の結末も人によっては意見が分かれる所だと思いますが、作者自身それを狙っている様な気もして、真意はわかりません。曲は日本風の曲調になっています。ごんと兵十の主題の他に、場面と場面の間に、物語とは関係のない「里の風景」と言う題で何曲か挿入しています。これは筈休め的な意味もありますが、その方が聴いている側に、物語と音楽のイメージが広がり易いのではないかなと言う目的です。(福島弘和)

● プロフィール：福島弘和 Hirokazu Fukushima

東京音楽大学卒業 同大学研究科修了 オーボエを浜道晁、作曲を有馬礼子の各氏に師事する。現在、吹奏楽やオーケストラなど作編曲活動をする。また、演奏にパフォーマンスやコメディアーを加えたアンサンブルポアールで演奏活動をする。1999 年朝日作曲賞、2003 年下谷作曲賞、2007,2012,2013 年下谷奨励賞、2010 年日本管打吹奏楽学会アカデミー賞作曲部門など受賞する。2001 年国民文化祭、2008 年全国高校総合文化祭の創作音楽を手掛けている。21 世紀の吹奏楽「響宴」会員。主な作品「ラッキードラゴン」「シンフォニエッタ 祈りの鐘」

● 演奏時間の目安

23 分 47 秒

● 収録

CD: 福島弘和 音楽と語りのための作品集 Vol.2 「ごんぎつね」(フォスターミュージック株式会社 / FMCD-1005)
演奏: 土気シビックウインドオーケストラ / 指揮: 加養浩幸

Hirokazu Fukushima

Gon, the Little Fox





- 1 Piccolo
- 2 1st Flute
- 2 2nd Flute
- 2 1st & 2nd Oboes
- 2 1st & 2nd Bassoons
- 1 Clarinet in E $\flat$
- 3 1st Clarinet in B $\flat$
- 3 2nd Clarinet in B $\flat$
- 1 3rd Clarinet in B $\flat$
- 1 Bass Clarinet in B $\flat$
- 2 1st & 2nd Alto Saxophones in E $\flat$
- 1 Tenor Saxophone in B $\flat$
- 1 Baritone Saxophone in E $\flat$

- 2 1st Trumpet in B $\flat$
- 2 2nd Trumpet in B $\flat$
- 2 3rd Trumpet in B $\flat$ (Flugelhorn)
- 2 1st & 2nd Horns in F
- 2 3rd & 4th Horns in F
- 1 1st Trombone
- 1 2nd Trombone
- 1 3rd Trombone
- 2 Euphonium
- 2 Tuba
- 1 String Bass

- 1 Timpani
- 2 Percussion 1
(Snare Drum, Bamboo Wind Chime, Rin (Triangle), Suzu, Crush Cymbals)
- 2 Percussion 2
(Wood Blocks, Suzu, Suspended Cymbal, Wind Chime, Temple Blocks)
- 2 Percussion 3
(Suspended Cymbal, Castanet, Claves, 4 Tom Toms, Tam-tam, Hi Hat, Cabasa, Bamboo Wind Chime, Wind Chime)
- 2 Percussion 4
(Wind Chime, Xylophone, Glockenspiel)
- 2 Percussion 5
(Glockenspiel, Marimba I)
- 1 Percussion 6
(Marimba II, Vibraphone, Chimes)

- 1 Harp

ごんぎつね

～音楽と語りのための～

Gon, the Little Fox

福島弘和
Hirokazu Fukushima

K1 **M1** ごんぎつねテーマ (♩=96ca.)

Piccolo

1st Flute

2nd Flute

1st & 2nd Oboes

1st & 2nd Bassoons

Clarinet in E^b

1st Clarinet in B^b

2nd Clarinet in B^b

3rd Clarinet in B^b

Bass Clarinet in B^b

1st & 2nd Alto Saxophones in E^b

Tenor Saxophone in B^b

Baritone Saxophone in E^b

K1 **M1** ごんぎつねテーマ (♩=96ca.)

1st Trumpet in B^b

2nd Trumpet in B^b

3rd Trumpet in B^b (Flugelhorn)

1st & 2nd Horns in F

3rd & 4th Horns in F

1st Trombone

2nd Trombone

3rd Trombone

Euphonium

Tuba

String Bass

K1 「ごんぎつね」は、昔、ある山平というおじいさんからきいたお話です。
これは、わたしたちの住むところの山というところに小さなお城があって、中山さまというおとのさまが、おられたそうです。
その中山から、少しはなれたところ、ごんぎつねという山に、「ごん狐」と言う狐がいました。
ごんは、一人ぼっちの山に、その一ぱいしげった森の中に穴をほって住んでいました。
そして、夜でも昼でも、山をのぼり下り、村へ出て来て、いたずらばかりしました。
山をのぼり下り、村へ出て来て、いたずらばかりしました。
山をのぼり下り、村へ出て来て、いたずらばかりしました。
山をのぼり下り、村へ出て来て、いたずらばかりしました。

Timpani

Snare Drum

Bamboo Wind Chime

Rin (Triangle)

Crash Cymbal

Wood Block

Suspended Cymbal

Wind Chime

Temple Block

Suspended Cymbal

Castanet, Claves

4 Tom Toms, Tann-tan

Hi Hat, Cabasa

Bamboo Wind Chime

Wind Chime

Wind Chime

Xylophone

Glockenspiel

Glockenspiel

Marimba I

Marimba II

Vibraphone

Chimes

Harp

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B.Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

Timp.

S.D.

W.B.

S.Cymb.

W.Ch.

Glock.

Vib.

Hp.

12

Picc. *f*

1 Fl. *f*

2 Fl. *f*

1&2 Obs. *f*

1&2 Bsns. *mf*

E♭ Cl. *f*

1 Cl. *f*

2 Cl. *f*

3 Cl. *f*

B.Cl. *mf*

1&2 A.Saxes. *f*

T.Sax. *f*

B.Sax. *mf* *f*

1 Trp. *f*

2 Trp. *f*

3 Trp. *f*

1&2 Hrns. *cresc.* *a2* *f*

3&4 Hrns. *cresc.* *a2* *f*

1 Trb. *mf* *f*

2 Trb. *f*

3 Trb. *mf* *f*

Euph. *f*

Tuba *f*

Str.Bass *f*

12

Timp. *mf* *mf*

S.D. *cresc.* *f*

W.B. *f*

S.Cymb. *mf* *f* W.Ch.

W.Ch. *mf* *f*

Glock. *mf* *f* Glock.

Vib. *mf*

Hp. *f*

18

Picc. *mf*

1 Fl. *mp*

2 Fl. *mp*

1&2 Obs. *mp* *a2*

1&2 Bsns. *mf*

E♭ Cl. *mp*

1 Cl. *mp*

2 Cl. *mp*

3 Cl. *mp*

B.Cl. *mf* *a2*

1&2 A.Saxes. *mp*

T.Sax. *mp*

B.Sax. *mf* *mp*

1 Trp. *mp*

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns. *mp*

3&4 Hrns. *mp*

1 Trb. *mf*

2 Trb. *mf*

3 Trb. *mf*

Euph. *mf*

Tuba *mf*

Str.Bass *mf*

18

Timp.

S.D. *mp*

W.B.

S.Cymb.

W.Ch.

Glock.

Vib. *p* *Vib.*

Hp.

f

K2 **M2 K3 散歩** (♩=96 ca.)
X time (about 6)

Picc. 1 Fl. 2 Fl. 1&2 Obs. 1&2 Bsns. E♭ Cl. 1 Cl. 2 Cl. 3 Cl. B.Cl. 1&2 A.Saxes. T.Sax. B.Sax. 1 Trp. 2 Trp. 3 Trp. 1&2 Hrns. 3&4 Hrns. 1 Trb. 2 Trb. 3 Trb. Euph. Tuba Str.Bass

K2 或秋のことでした。二、三日雨がふりつづいた。朝、ごんは、外へも出られなく、雨の中にながらうしていました。雨があがると、ごんは、ほつた穴からはじめました。空はからっと晴れていて、百舌鳥がさかき、ひびいていました。

K3 散歩 (♩=96 ca.)
ごんは、村の小川の堤まで出て来ました。あたりの、すすきの穂には、まだ雨のしずくが光っていました。川はいつもは水が少ないのですが、三日もの雨で、水が、どっとまわっていました。ただのときは水につかることのない、川べりのすすきや、萩の株が、黄いろくにこった水に横たおしになって、もまれていました。ごんは川下の方へと、ぬかるみみちを歩いていきました。

25 Timp. S.D. W.B. Cast. W.Ch. Mrmb.I Mrmb.II Hp.

CAST.

29

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B.Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

29

Timp.

S.D.

W.B.

Cast.

Xylo.

Xylo.

Mrb.I

Mrb.II

Hp.

mp

mp

mp

mp

K4

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B.Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

K4

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

K4
ふと見ると、川の中を覗き込んで、何かを探している。そう、草の深いところからじっとのぞいて見ました。
「兵十だな。」と、こぼれ落ちていました。
兵十はぼろぼろの黒い髪を、水にひたひたまで上げて、魚をとる、はりきりという、網をゆすぶっていました。
はちまきをした顔の横っちょ、水にひたひたまで、大きな黒子みたいにへばり付いていました。
しばらくすると、兵十は、網の隅に、うしろの、袋のようになったところを、水の中からもちあげました。
その中には、芝の根や、草の根、さびれたなどが、ごちゃごちゃ入っていましたが、でもところどころ、白いものがきらきら光っています。(語りは続けて)

36

Timp.

S.D.

W.B.

Cast.

Xylo.

Mrb.I

Mrb.II

Hp.

M3 K5 兵十のテーマ (♩=80 ca.)

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

mp

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B.Cl.

mp

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

mp

B.Sax.

mp

M3 K5 兵十のテーマ (♩=80 ca.)

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

p

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

mp

Tuba

arco

Str.Bass

mp

K5

それは、ふというなぎの腹や、なすの...した。
 兵十は、びくの中へ、そのうな...と一しょにぶちこみました。
 そしてまた、袋の口をしはって、...しました。

37

Timp.

p

S.D.

W.B.

Clav.

p

Xylo.

Mrb.I

Mrb.II

Hp.

K6 **M4** いたずら (♩=96 ca.)

Picc. **K6**

1 Fl. **M4** *mf* *mp*

2 Fl. **M4** *mf* *mp* *a2*

1&2 Obs. **M4** *mf* *mp*

1&2 Bsns. **M4** *mf* *mp*

E♭ Cl. **M4** *mf*

1 Cl. **M4** *mf*

2 Cl. **M4** *mf*

3 Cl. **M4** *mf*

B.Cl. **M4** *mf*

1&2 A.Saxes. **M4** *mf*

T.Sax. **M4** *mf*

B.Sax. **M4** *mf*

K6 **M4** いたずら (♩=96 ca.)

1 Trp. **M4**

2 Trp. **M4**

3 Trp. **M4**

1&2 Hrns. **M4**

3&4 Hrns. **M4**

1 Trb. **M4**

2 Trb. **M4**

3 Trb. **M4**

Euph. **M4** *mf*

Tuba **M4** *pizz.*

Str.Bass **M4** *mf*

K6
兵十はそれから、びくをも...から上が⁽¹⁾
びくを土手においといて、
何をさがしにか、川上の方へか...きま

45

Timp. **M4** *mf*

S.D. **M4** *mf*

W.B. **M4** *mf*

Clav. **M4** *mf*

Xylo. **M4** *mf*

Mrb.I **M4** *mf*

Mrb.II **M4** *mf*

Hp. **M4**

K7
X times (about 6)

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B. Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

51

K7 3-time play

51

K7

兵十がいなくなると、うなぎはびよと草の中へび出して、ひよこをそばへかけつけました。
 ちょいと、いたずらがしただけです。
 ごんはびよの中の魚をつかまなかったのは、はしごの網のかかっているところより下手の川の中を目にかけて、ぼんぼんげこみました。
 どの魚も、「とぼん」と音をたてながらにぎやかな水の中へもぐりこみました。
 一ぱんしまいに、太いうなぎを釣りましたが、何しろぬるぬるとすべりぬけるので、手ではつかめません。
 ごんはじれったくなって、頭をうなぎの口にくっこんで、うなぎの頭を口にぐわえました。
 うなぎは、キュッとやって、ごんを口から吐き出しました。

51

Timp.

S.D.

W.B.

Clav.

Xylo.

Mrb. I

Mrb. II

Hp.

逃げる (♩=120 ca.) K8

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B. Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

57

Change to Flg.

4 Toms

Xylo.

Mrb.I

Mrb.II

Hp.

そのとたんに兵十が、向うから、
「うわアぬすど狐め」と、どなりたてました。
ごんは、びっくりしてとびあがりました。
うなぎをふりすててにげようとしたが、うなぎは、ごんの首にまきついたまはなれません。
ごんはそのまま横とびにとび出して、一しょうけんめいに、にげていきました。

63

Picc. *mp* *mf* *rit.*

1 Fl. *mp* *mf*

2 Fl. *mp* *mf*

1&2 Obs. *mp* *mf*

1&2 Bsns. *mf*

E♭ Cl. *p*

1 Cl. *p*

2 Cl. *p*

3 Cl. *p*

B.Cl. *mf*

1&2 A.Saxes. *p*

T.Sax. *mf*

B.Sax. *p* *rit.*

1 Trp. *p*

2 Trp. *p*

3 Trp. *p*

1&2 Hrns. *p*

3&4 Hrns. *p*

1 Trb. *p*

2 Trb. *p*

3 Trb. *p*

Euph. *mf* *p* *div.*

Tuba *p*

Str.Bass *p*

63

Timp. *p*

S.D. *p*

W.B. *p*

4 Toms *p*

Xylo. *p*

Mrb.I *p*

Mrb.II *p*

Hp. *p*

69

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B.Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

69

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

69

Timp.

S.D.

Suzu

4 Toms

Glock.

Mrb.

Vib.

Hp.

K9

M5 里の情景 I (♩=72 ca.)

M5 里の情景 I (♩=72 ca.)

K9

ほら穴の近くの、はんの木の下でふりかえて見ましたが、
兵十は追っかけては来ませんでした。
ごんは、ほっとして、うなぎの頭をかみくだき、
やっとはずして穴のそとの、草の葉の上にのせておきました。

Suzu

Glock.

Vib.

74

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B.Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

74

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

74

Timp.

S.D.

Suzu

4 Toms

Glock.

Mrb.

Vib.

Hp.

p

a2

a2

K10

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E $\flat$ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B.Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

K10

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

M6 葬儀 (♩ =72 ca.)

M6 葬儀 (♩ =72 ca.)

K10
十日ほどたって、ごんが、弥助というお百姓の家の裏を通りかかります。いちじくの木のかげで、弥助の家内が、おはぐろをつけていました。
鍛冶屋の新兵衛の家のおとこだと、新兵衛の家内が、髪をすいていました。
ごんは、「ふふん、おれも思いました。」
「何だろう、秋祭りが今年もあつたのだ。それに第一、お宮にのぼりが立つはずだが。」
こんなことを考えながら歩いて来ますと、やがてお墓のある十十の家の前へ来ました。
その小さな、こわれかけた中には、大勢の人が集まっています。
よそいきの着物を着て、お参りをさげたりした人々が、表のかまどで火をたいています。
大きな鍋の中では、何かを煮えていました。
「ああ、葬式だ」と、ごんはつぶやきました。
「兵十の家のだれが死んだんだ？」
お午がすぎると、ごんは、村の墓地へ行って地蔵さんのかげにかくれていました。
いいお天気で、遠く向うには、お山がよく光っています。墓地には、ひがん花が、赤い布のようにさきつづいています。
と、村の方から、カーン、カーンと音がして来りました。葬式の出る合図です。

81

Timp.

S.D.

S.Cymb.

4 Toms

Glock.

Mrmb.

Chim.

Hp.

S Cymb.

pp

p

Chim.

p

K11

X times (about 7)

84 X times (about 7)

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B.Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

K11

1 Trp.

2 Trp.

Flgl.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

K11
やがて、白い着物を着た行列のものたちが、お墓の前へはじまりました。
話声も近くなりました。お墓の列は墓地へは行って来
人々が通ったあとには、きれいな花が、ふみおら
ごんはのびあがって見ま
兵が、白いかみしをもつ、位牌をささ
いつもは赤いさつま芋みたい
きょうは何だかしおれていました。
「ははん、死んだのは兵士の
ごんはそう思いながら、頭をひ

Timp.

S.D.

S.Cymb.

Tam-t.

Glock.

Mrmb. I

Mrmb. II

Hp.

1st time only

p

Tam-t. triangle beater

p

K12 **M7 里の情景 II (♩=72ca.)**

Picc. 1 Fl. 2 Fl. 1&2 Obs. 1&2 Bsns. Eb Cl. 1 Cl. 2 Cl. 3 Cl. B.Cl. 1&2 A.Saxes. T.Sax. B.Sax.

K12 **里の情景 II (♩=72ca.)**

1 Trp. 2 Trp. Flgl. 1&2 Hrns. 3&4 Hrns. 1 Trb. 2 Trb. 3 Trb. Euph. Tuba Str.Bass

92

ごんは、穴の中で考えた。
「うなごの母は、床に引っかかって、うなぎを食べてしまったにちがいない。
それなのに、はりきり網を引っ張り出して、うなぎを食べてしまった。
どこかへ行って、うなぎを食べて、うなぎを食べて来た。
だから兵衛の母は、うなぎを食べさせることが出来なかった。
そのままだけに、死んでしまったにちがいない。
ああ、うなぎを食べて、うなぎが食べたいとおもいながら、死んだんだろう。
ちょっ、あんまり、うなぎをしなけりゃよかった。」

92

Timp. S.D. S.Cymb. Tam-t. Glock. Mrmb.I Mrmb.II Hp.

K13
 兵十が、赤い井戸のところで、美をといっていました。
 兵十は今まで、おっ母と二人きりで貧しいくらしをしていたもので、
 おっ母が死んでしまっちは、もう一人ぼっちでした。
 「おれと同一人じゃあ兵十か」
 こちらの物置の後ろから見ていたごんは、そう思いました。
 ごんは物置のそばをばなれて、向うへいきかけますと、
 どこかで、いわしを売る声がします。
 「いわしのやすうりだしい。いきのいいいわしだしい」

M8 魚泥棒 (♩=112ca.) **K14**

Picc. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

1 Fl. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

2 Fl. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

1&2 Obs. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

1&2 Bsns. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

E♭ Cl. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

1 Cl. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

2 Cl. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

3 Cl. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

B.Cl. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

1&2 A.Saxes. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

T.Sax. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

B.Sax. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

M8 魚泥棒 (♩=112ca.) **K14**

1 Trp. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

2 Trp. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

3 Trp. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

1&2 Hrns. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

3&4 Hrns. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

1 Trb. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

2 Trb. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

3 Trb. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

Euph. **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

Tuba **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

Str.Bass **M8 魚泥棒 (♩=112ca.)** **K14**

K14

「いわしのやすうりだあい。いわしのやすうりだあい。」
 いわしは、いわしのかごをつんだ車を、道ばたにおいて、
 びかびか光るいわしを両手でつかんで、弥助の家の中へもってはいりました。
 ごんはそのすきまに、かごの中から、五、六びきのいわしをつかみ出して、もと来た方へかけ出しました。
 そして、兵十の家の裏口から、家の中へいわしを投げこんで、穴へ向ってかけもどりました。

K14

Timp. **K14**

S.D. **K14**

S.Cymb. **K14**

H.H. **K14**

Xylo. **K14**

Mrb.I **K14**

Mrb.II **K14**

Hp. **K14**

M9 K15

X times (about 4)

106

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B. Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

106

M9 K15

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

106

Timp.

S.D.

S.Cymb.

H.H.

Xylo.

Mrb.I

Mrb.II

Hp.

K15
途中の坂の上でふりかえりますと、
兵十がまだ、井戸のところが小さく見えました。
ごんは、うなぎのつぐないをしようと思いました。

Cast.

mf

K16

114

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B.Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

114

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

114

Timp.

S.D.

S.Cymb.

Cast.

Xylo.

Mrb.I

Mrb.II

Hp.

K16

つぎの日には、ごんは山で栗をどっさりひろって、それをかかえて、兵十の家へいきました。
 山からのぞいて見ますと、兵十は、午飯をたべかけて、茶碗をもったまま、ぼんやりと考えこんでいました。
 あんなことには兵十の頬べたに、かすり傷がついています。
 どうしたんだろうと、ごんが思っていますと、兵十がひとりごとをいいました。
 「一たいだれが、いわしなんかをおれの家へほうりこんでいったんだろう。
 おかげでおれは、盗人と思われて、いわし屋のやつに、ひどい目にあわされた。」
 と、ぶつぶつ言っています。ごんは、これはしまったと思いました。
 「かわいそうに兵十は、いわし屋にぶんなぐられて、あんな傷までつけられたのか。」
 ごんはこうおもいながら、そっと物置の方へまわってその入口に、栗をおいてかえりました。

M10 里の情景 III (♩=72 ca.) **K17**

Picc. 1 Fl. 2 Fl. 1&2 Obs. 1&2 Bsns. Eb Cl. 1 Cl. 2 Cl. 3 Cl. B.Cl. 1&2 A.Saxes. T.Sax. B.Sax.

118 2nd time only *p* 2nd time only *p*

M10 里の情景 III (♩=72 ca.) **K17**

1 Trp. 2 Trp. 3 Trp. 1&2 Hrns. 3&4 Hrns. 1 Trb. 2 Trb. 3 Trb. Euph. Tuba Str.Bass

Mute Cup *pp* Mute Cup *pp* 2nd time only *p*

K17
つぎの日も、そのつぎの日もごんは、栗をひろっては、
兵十の家へもって来てやりました。
そのつぎの日には、栗ばかりでなく、まつたけも二、三ぼんもっていきました。

118 Bamboo W.Ch. 2nd time only *p* Glock. *p* 2nd time only

Mrmb.I Mrmb.II Hp.

125 K18

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B.Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

125 Mute St. solo K18

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

125

Timp.

Bamboo W.Ch.

W.Ch.

Cast.

Glock.

Mrb.I

Mrb.II

Hp.

月のいい晩でした。
 ごんは、ぶらぶらあそびに出かけました。
 中山さまのお城の下を通ってすこしくと、細い道の向うから、だれか来るようです。
 話声が聞えます。
 チンチロリン、チンチロリンと松虫が鳴いています。
 ごんは、道の片がわにかくれて、じっとしていました。
 話声はだんだん近くなりました。
 それは、兵十と加助というお百姓でした。

M11 K19 後をつける (♩=84 ca.)

X times (about 8)

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B.Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

mp

mp

mp

M11 K19 後をつける (♩=84 ca.)

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

Open

p

mp

K19

「そうそう、なあ加味」と、兵十がいきました。
 「ああん？」
 「おれあ、この...」
 「何が？」
 「おっ母が死んでから、だれだか知らんか、...を、まいにちまいにちくれるんだよ」
 「ふうん、だれが？」
 「それがわからんのだよ、...の知らんうちに...っていくんだ」
 ごんは、二人のあとをついてきました。
 「ほんとかい？」
 「ほんとだとも。うそと思う...あした...来いよ。その票を見せてやるよ」
 「へえ、へんなこともあるもん...」
 それなり、二人はだまって歩いて...

Timp.

Bamboo W.Ch.

T.B. (W.B.)

Cabasa

Xylo.

Mrb.I

Mrb.II

Hp.

T.B. (W.B.)

Cabasa

p

p

K20

137

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B.Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

137

Timp.

Bamboo W.Ch.

T.B. (W.B.)

Cabasa

Xylo.

Mrb.I

Mrb.II

Hp.

加三がひょいと、後を見ました。
 ごんはびくっとして、小さくなってちどまりました。
 加助は、ごんには気がつかないで、そのままさっさとあるきました。
 吉兵衛というお百姓の家まで来ると、二人はそこへはいつていきました。
 ポンポンポンと木魚の音がしています。
 窓の障子にあかりがさして、大きな坊主頭がうつて動いていました。
 ごんは、「おねんぶつがあるんだな」と思いながら井戸のそばにしゃがんでいました。
 しばらくすると、また三人ほど、人がつれだつて吉兵衛の家へはいつていきました。
 お経を読む声がきこえて来ました。
 ごんは、おねんぶつがすむまで、井戸のそばにしゃがんでいました。
 兵十と加助は、また一しょにかえっていきます。

Gon, the Little Fox - fostermusic rental collection

K21 X times (about 10)

M12 里の情景 IV (♩=72 ca.)

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B.Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

K21 **M12** 里の情景 IV (ca.)

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

K21

ごんは、二人の話をきこうと思って、ついていきました。
兵十の影法師をふみながら、お城の前まで来た。
「さっきの話は、……」
「えっ？」と、兵十はくりして、加助。
「おれは、あれから……」
神さまが、お前がたっ……
「そうかなあ」
「そうだとも。だから、ま……」
「うん」
ごんは、へえ、こいつはつま……
おれが、栗や松たけを持……、そのおれにはお礼をいわないで、
神さまにお礼をいうんじゃア、お……

141

Timp.

Rin (Tri.)

T.B. (W.B.)

Cabasa

Xylo.

Mrb.I

Mrb.II

Hp.

Suzu

S.Cymb.

Tam-t. with Triangle beater

148

Picc. *mf* solo

1 Fl. *mf*

2 Fl. *mf* a2

1&2 Obs. *mf*

1&2 Bsns. *mf*

E♭ Cl. *p*

1 Cl. *p*

2 Cl. *p*

3 Cl. *p*

B.Cl. *p*

1&2 A.Saxes. *mf*

T.Sax. *mf*

B.Sax. *p*

148

1 Trp. *mf*

2 Trp. *mf*

3 Trp. *mf*

1&2 Hrns. *mf* 1st

3&4 Hrns. *mf* 3rd

1 Trb. *p*

2 Trb. *p*

3 Trb. *p*

Euph. *p*

Tuba *p*

Str.Bass *p*

148

Timp. *mp*

Suzu *mp*

S.Cymb. *mp*

Tam-t. *mp*

Glock. *mp*

Mrb. *mp*

Vib. *p*

Hp. *mp*

154

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B.Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

154

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

154

Timp.

Suzu

S.Cymb.

Tam-t.

Glock.

Mrm.b.

Vib.

Hp.

K22

K22

そのあくる日もごんは、栗をもって、兵十の家へ出かけました。
兵十は物置で縄をなっていました。
それでごんは家の裏口から、こっそり中へはいりました。
そのとき兵十は、ふと顔をあげました。と狐が家の中へはいったではありませんか。
こないだうなぎをぬすみやかったあのごん狐めが、またいたずらをしに来たな。
「ようし」

M13 K23 ごんと兵十 (♩=72 ca.)

159

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B. Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

159

M13 K23 ごんと兵十 (♩=72 ca.)

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

K23
 兵十は、立ちあがって、絆を引けてある火縄を引いて、火薬をつめました。
 そして足音をしのばせてちかちか、今戸口をうとうとするごんを、ドンと、うちました。
 ごんは、ぱたりとたおれました。
 兵十はかけよって来ました。家の裏の間に栗が、かためておいてあるのが目につきました。
 「おや」と兵十は、びっくりして、おどろきました。

159

Timp.

Suzu

S.Cymb.

Tam-t.

Glock.

Mrb.

Vib.

Hp.

166

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B.Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

166

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

166

Timp.

Suzu

S.Cymb.

Tam-t.

Glock.

Mrmbl.

Mrmbl.II

Hp.

172 K24

Picc. *mf* *fp* *ff*

1 Fl. *mf* *fp* *ff*

2 Fl. *mf* *fp* *ff*

1&2 Obs. *mf* *fp* *ff*

1&2 Bsns. *mf* *fp* *ff*

E♭ Cl. *mf* *fp* *ff*

1 Cl. *mf* *fp* *ff*

2 Cl. *mf* *fp* *ff*

3 Cl. *mf* *fp* *ff*

B.Cl. *mf* *fp* *ff*

1&2 A.Saxes. *mf* *fp* *ff*

T.Sax. *mf* *fp* *ff*

B.Sax. *mf* *fp* *ff*

172 K24

1 Trp. *ff*

2 Trp. *ff*

3 Trp. *ff*

1&2 Hrns. *ff*

3&4 Hrns. *ff*

1 Trb. *mf* *fp* *ff*

2 Trb. *mf* *fp* *ff*

3 Trb. *mf* *fp* *ff*

Euph. *mf* *fp* *ff*

Tuba *mf* *fp* *ff*

Str.Bass *mf* *fp* *ff*

172 K24

Timp. *mf* *ff*

Suzu *mf* *ff*

S.Cymb. *p* *f*

Tam-t. *p* *f*

Glock. *ff*

Mrb.I *mf* *fp* *ff*

Mrb.II *mf* *fp* *ff*

Hp. *f*

K24
「ごん、お前（まい）だったのか。いつも栗をくれたのは」

176 K25

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B. Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

176

Timp.

Cymbs.

S.Cymb.

B.D.

Glock.

Mrb.I

Mrb.II

Hp.

ff *p* *pp* *mf* *f* *p* *pp* *mf* *p*

a2

ff *p* *pp* *mf* *f* *p* *pp* *mf* *p*

B.D.

Bamboo W.Ch.

K25
 ごんは、ぐったりと目をつぶったまま、うなずきました。
 兵十は、火縄銃をばたりと、とり落しました。
 青い煙が、まだ筒口から細く出ていました。

183

Picc.

1 Fl.

2 Fl.

1&2 Obs.

1&2 Bsns.

E♭ Cl.

1 Cl.

2 Cl.

3 Cl.

B.Cl.

1&2 A.Saxes.

T.Sax.

B.Sax.

183

1 Trp.

2 Trp.

3 Trp.

1&2 Hrns.

3&4 Hrns.

1 Trb.

2 Trb.

3 Trb.

Euph.

Tuba

Str.Bass

183

Timp.

C.Cymbs.

S.Cymb.

Bamboo W.Ch.

Glock.

Mrb. I

Mrb. II

Hp.

189

Picc. *f* *ff*

1 Fl. *f* *ff*

2 Fl. *f* *ff*

1&2 Obs. *f* *ff*

1&2 Bsns. *f* *ff*

E♭ Cl. *f* *ff*

1 Cl. *f* *ff*

2 Cl. *f* *ff*

3 Cl. *f* *ff*

B.Cl. *f* *ff*

1&2 A.Saxes. *f* *ff*

T.Sax. *f* *ff*

B.Sax. *f* *ff*

189

1 Trp. *f* *ff*

2 Trp. *f* *ff*

3 Trp. *f* *ff*

1&2 Hrns. *f* *ff* *a2*

3&4 Hrns. *f* *ff* *a2*

1 Trb. *f* *ff*

2 Trb. *f* *ff*

3 Trb. *f* *ff*

Euph. *f* *ff*

Tuba *f* *ff*

Str.Bass *f* *ff*

189

Timp. *f* *ff*

C.Cymbs. *f* *ff*

S.Cymb. *f* *mp* *ff*

B.D. *f* *ff*

Glock. *f* *ff*

Mrb. *f* *ff*

Chim. *f* *Chim.*

Hp. *f* *ff*

195

Picc. *mf*

1 Fl. *mf*

2 Fl. *mf*

1&2 Obs. *mf*

1&2 Bsns. *mf* *mp*

E♭ Cl. *mf* solo *mp*

1 Cl. *mf* *mp*

2 Cl. *mf*

3 Cl. *mf*

B.Cl. *mf*

1&2 A.Saxes. *mf*

T.Sax. *mf*

B.Sax. *mf* *mp*

1 Trp. *mf* solo *mp*

2 Trp. *mf*

3 Trp. *mf*

1&2 Hrns. *mf* solo 1st *mp*

3&4 Hrns. *mf*

1 Trb. *mf* *mp*

2 Trb. *mf* *mp*

3 Trb. *mf* *mp* solo

Euph. *mf* *mp*

Tuba *mp*

Str.Bass *mf* *mp*

195

Timp.

C.Cymbs.

S.Cymb.

W.Ch. *p* W.Ch.

Glock.

Mrb.

Chim.

Hp.

Gon, the Little Fox - fostermusic rental collection

ごんぎつねテーマ (♩=96 ca.)

202
Picc. *mf*

1 Fl. *mp*

2 Fl. *mp*

1&2 Obs. *mp*

1&2 Bsns. *p*

E♭ Cl. *mp*

1 Cl. *tutti mp*

2 Cl. *mp*

3 Cl. *mp*

B.Cl. *mp*

1&2 A.Saxes. *a2 p*

T.Sax. *p*

B.Sax. *p*

ごんぎつねテーマ (♩=96 ca.)

202
1 Trp. *mf*

2 Trp. *mf*

3 Trp. *mf*

1st
2 Hrms. *p*

3rd
3&4 Hrms. *p*

1 Trb. *p*

2 Trb. *p*

3 Trb. *p*

Euph. *mf*

Tuba *mf*

Str.Bass *mf*

202
Timp. *mf*

S.D. *S.D. off mf*

W.B. *W.B. p mf*

W.Ch. *p*

Xylo. *Xylo. mf*

Mrb. *mf*

Vib. *mf*

Hp. *mp*